

# 週間漁海況情報—第30号

平成27年8月4日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週火曜日夜間に更新します。

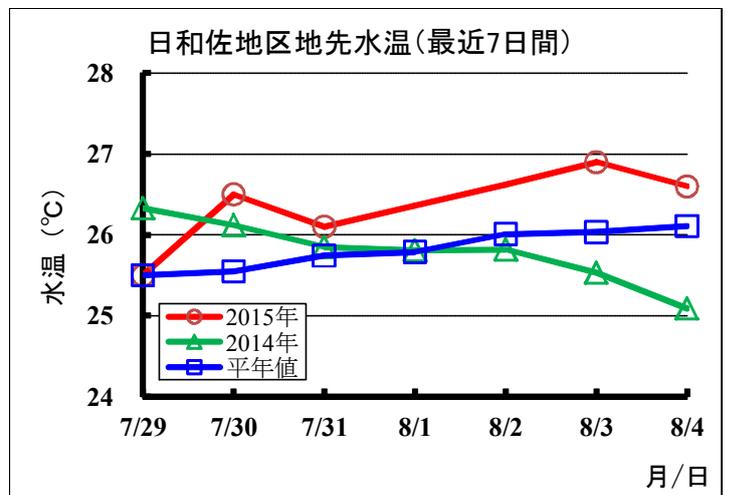
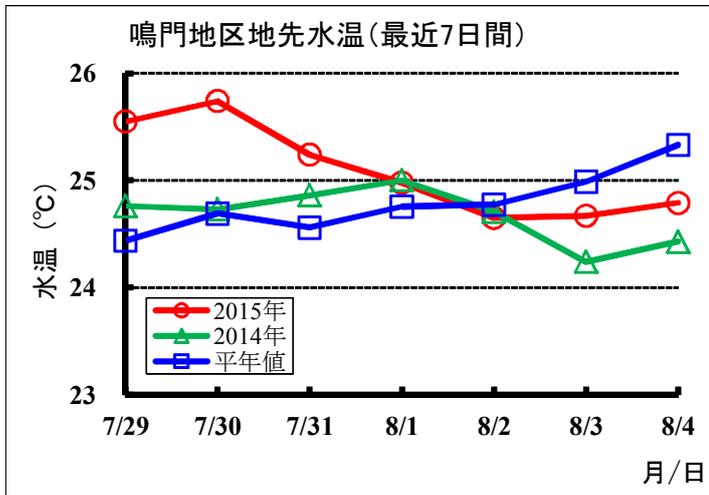
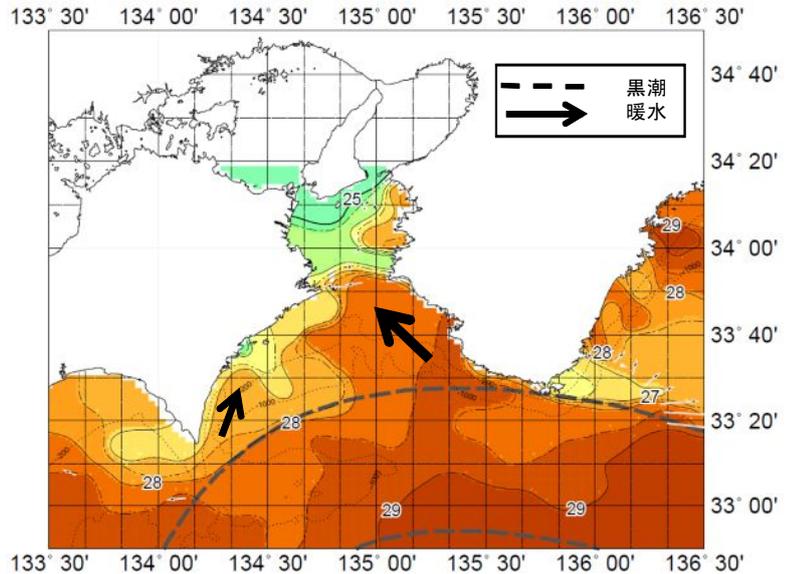
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課

## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H27.8.4）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でかなり離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は28℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で24℃台、紀伊水道で24～28℃台、海部沿岸では25～26℃台である。紀伊水道外域では和歌山県沿岸と室戸岬沖からの暖水流入が見られる。



地先水温：最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「やや高め」の24.7～25.7℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の25.5～26.9℃、牟岐地区は「やや低め」～「高め」の25.0～26.9℃で推移した。

### 水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

\* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

\*8/1～8/2の日和佐地区地先水温は美波庁舎改築に伴う揚水ポンプの停止により欠測

## 2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸でアカムツが1.3トン（1日1隻あたり21kg）、大主体にマサバが0.3トン（同9kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸でウルメイワシが0.4トン（同28kg）、カタクチイワシが0.5トン（同37kg）、小主体にマアジが0.6トン（同42kg）水揚げされた。

釣り：紀伊水道で特大主体にタチウオが0.6トン（同22kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが93.8トン（同781kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2015年7月27日～2015年8月2日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	64	1,340	21	
		マサバ	32	273	9	大主体
ウルメイワシ		16	442	28		
カタクチイワシ		13	484	37		
マアジ		15	628	42	小主体	
釣り	紀伊水道	タチウオ	29	636	22	特大主体
パッチ網		シラス	120	93,750	781	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の7月28日～8月3日には、海部沿岸では、大主体にイサキが0.1トン、特大主体にタチウオが0.1トン、紀伊水道では、パッチ網でシラスが58.1トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「かなり離岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の25～26℃台、日和佐地先で「平年並み」～「やや高め」の26～27℃台で推移する見込み。

徳島県周辺海域での長期漁海況予報（2015年8月～12月）：黒潮は、足摺岬～潮岬沖では、8月に小蛇行の東進により一時的に離岸する見込み。紀伊水道外域の沿岸水温は、「平年並」で推移する見込み。